

【会長挨拶】

長期間にわたる新型コロナウイルスの流行を何とか乗り切り、当学会の活動も「コロナ以前」のものに近づいて参りました。プログラムにもありますように、全国大会は東北大学(東北支部)にて対面形式で行われる予定です。開催に際し、格別のご支援をいただいた東北大学と、大会開催に向けてご尽力くださっている東北支部の方々にはあらためて御礼申し上げます。

今大会もシンポジウム、研究発表、ワークショップ、いずれもたいへん充実した内容で、大会二日目の特別講演では仙台ご出身の作家佐伯一麦さんにご登壇いただきます。佐伯さんは現代日本を代表する小説家として知られ、電気工として働いていた時期から専業の作家になるまで、さまざまご自身のご経験を作品中に盛り込まれてきました。近年はご家族のお仕事の関係もあり英国とも縁を深めておられ、今回は当学会のために、そのあたりからめったエピソードもお話しくくださる予定です。是非、奮ってご参加ください。

(阿部公彦)

【理事会報告】

◎臨時理事会

2023年10月9日(月)、日本英文学会事務局を会議本部とするZoomミーティングにて、臨時理事会が開催されました。主要な議題は以下の通りです。

1. ハラスメント防止ガイドラインについて
現在ハラスメント防止ガイドライン起草委員会(以後「起草委員会」と理事・評議員の有志の間で行われている協議会の進展について報告があった。ガイドラインについては今後も必要に応じて協議会を開くこととし、その議論を継続するこ

ととなった。

2. インボイス制度対応について
インボイス制度については今後継続して慎重に検討することが確認された。
3. 支部支援金計算方式の修正について
支部支援金について、従来の方式を変更し、各支部策定の事業計画に基づいた予算案に応じて支給する方向となることが確認された。今後課題をクリアした上で、2025年度予算からの運用を目指す旨、承認された。

続いて、2024年1月29日(月)、日本英文学会事務局を会議本部とするZoomミーティングにて、臨時理事会が開催されました。主要な議題は以下の通りです。

1. ハラスメント防止ガイドラインについて
ハラスメント防止ガイドライン作成について、1月21日(日)に行われた起草委員会との協議会開催の報告を踏まえ、3月理事会以降の成立を目指すこととした。
2. 事務職員の退職とそれに伴う北鳥山編集室との契約の修正について
事務員一名の退職と退職金支払いについて報告があり、承認された。またそれに伴い、事務契約を行っている北鳥山編集室との契約について必要な修正を行った旨報告があり、これも承認された。なお、事務局の開室日が以上の変更に伴い、月、火、水、金の週4日から月、火、金の週3日に当面変更されることとなった。
3. 次々回の大会開催に関する進行状況について
次々回の大会について、佐藤関東支部支部長より、関東支部が担当することが確認された。詳細については追って学会ウェブサイトおよびメーリングリストで会員に周知することとした。

◎第96全国大会の開催形態について

第96回全国大会は、2024年5月4日(土)、5日(日)の両日において東北大学川内北キャンパス(宮城県仙台市)にて開催されます。本大会は対面形式で開催されます。多数の会員の皆様のご参加をお待ちしております。詳細は学会ウェブサイトおよびメーリングリストにてお知らせする予定です。メーリングリストへのご登録がお済みでない方は学会ウェブサイトよりお手続きをお願いいたします。

◎全国大会期間中における託児施設の利用について

開催校、開催支部のご尽力により、第96回全国大会期間中には、以下のとおりに託児施設が開設され、英文学会会員の希望者専用にご利用いただけます。

日時：2024年5月4日(土) (12:00～18:00)、
5月5日(日) (9:00～17:00)

場所：事前申込者には当日お知らせいたします。

お問い合わせ、ならびにご利用のお申し込みは、学会ウェブサイトの全国大会ページおよびメーリングリストにて後日ご案内いたします。

◎ハラスメント防止ガイドラインについて

2022年9月よりハラスメント防止ガイドライン起草委員会(発足当初の名称は「ハラスメント規定起草委員会」)が発足し、日本英文学会におけるハラスメント防止のためのガイドライン策定が進められています。委員は藤田佳也(酪農学園大学)、鈴木美津子(東北大学名誉教授)、高桑晴子(お茶の水女子大学)、本田安都子(福井大学)、水野眞理(京都大学名誉教授)、松浦美佐子(岡山商科大学)、後藤美映(福岡教育大学)の支部選出委員7氏と、大河内昌(東北大学)、舌津智之(立教大学)、柳朋宏(中部大学)の会長指名委員3氏となります。当委員会で作成されたガイドラインの原案は2023年3月の理事会にて審議され、その内容や方向性は概ね承認されました。ただし、細目の修正や運用のためのスケジュール等については継続審議とな

り、現在理事・評議員・起草委員会で構成される協議会等を通じて意見交換を行いつつ、近日常の完成をめざしています。

◎終身会員制度について

日本英文学会では2013年度より終身会員制度を始めております。「終身会員規程」は学会ウェブサイト(<https://www.elsj.org>)「入会案内」欄より閲覧できますのでご覧ください。お問い合わせ、ならびにお申し込みは本部事務局(ejimu2@elsj.org)にて受け付けております。

◎事務局開室時間

本部事務局事務室の開室時間は、現在以下のようになっております。

月曜日、火曜日、金曜日 11:00～16:00

上記以外の曜日・時間帯(特に土日、祝日や夏季休暇・冬季休暇)にいただいたお問い合わせへの返信は少しお時間をいただくこととなりますが、ご了承ください。

◎海外研究者招聘後援事業

英文学会では、2011年6月1日より、日本における英文学研究の国際化促進のために、海外研究者招聘後援事業を実施しております。該当する企画をお持ちの団体による応募を歓迎いたします。応募する団体は、申請書類を電子メール添付にて本部事務局宛にお送りください。なお、同事業の応募規程、採択された事業の概要ならびに企画申請書は、学会ウェブサイト(<https://www.elsj.org>)「リンク(助成金、各種募集、他学会)」欄より閲覧できます。

◎会員著書案内

英文学会では、本部事務局宛に会員から著書を献本いただいた場合、学会ウェブサイトにて著書紹介を出版から2年のあいだ掲載することができるようになっております。掲載対象となる著書は、英語圏文学・英語学・英語教育に関する会員独自の研究成果に限り、訳書や上記分野以外の著作等は対象外とさせていただきます。なお、著書案内に掲載された著書については、『英文学研究』編集委員会において書評対象の候補として検討させていただきます。ご希望の方は、次の情報を本部事務局(ejimu@elsj.org).

org)までメールでお寄せください。

1. 著書のタイトル、出版社、出版年
2. 著書の内容の梗概1,200字程度
3. 目次

著書を出版された方は、どうぞふるってこの著書案内コーナーをご利用くださるようお願いいたします。会員の皆様におかれましては、学会ウェブサイト「会員著書案内」欄をぜひご覧ください。

【2024年度シェイクスピア祭のお知らせ】

2024年度シェイクスピア祭を、日本英文学会・日本シェイクスピア協会共催にて下記の通り開催します。今年度は早稲田大学で実施します。キャンパス内会場についての詳細は、追って日本シェイクスピア協会ウェブサイト(<https://www.s-sj.org/>)にてご連絡いたします。

日時：2024年4月20日(土) 13:00～16:40

場所：早稲田大学(詳細は日本シェイクスピア協会ウェブサイトにて案内)

プログラム：

13:00 開会の辞 篠崎実・日本シェイクスピア協会会長(千葉大学教授)

13:10～14:40 講演

末廣幹氏(専修大学教授・日本シェイクスピア協会前会長)

演題「you have been mistook. / But nature to her bias drew in that'.
——シェイクスピア喜劇における登場人物の交換をめぐって」

14:40～15:00 休憩

15:00～16:30 トーク

鵜山仁氏(演出家・文学座)

テーマ 「歴史劇から喜劇へ、そして悲劇へ」

聞き手 近藤弘幸氏(東京学芸大学教授)

16:30 閉会の辞 阿部公彦・日本英文学会会長(東京大学教授)

【大会準備委員会からのお知らせ】

◎第96回全国大会について

第96回大会は対面での開催となります。大型連休中の開催となるため、可能な限り早めに、宿泊先を確保されることをお勧めいたします。また新幹線・航空券についてもお早めにご手配ください。

「研究発表応募について」に後述します通り、今回は英文学の応募数が多く、内容的にも優れたものが多かったため、前回より開室数を増やしております。これに伴い、『Newsletter No. 142』でもお知らせした9氏に加え、ジェイムズ・ティンク(東北大学)、金井典子(宮城大学)、三枝和彦(山形大学)、佐藤恵(東北福祉大学)、竹森徹士(宮城教育大学)の5氏に開催校委員・支部委員として加わっていただくこととなりました。開催校・支部の先生方には格別のご理解とご協力を賜りますこと、心より御礼申し上げます。また、東北大学から多大なご助成およびご協力をいただいていること、この場をお借りして謝意をお伝えいたしたく存じます。

◎研究発表応募について

第96回大会の研究発表に応募された方々は、英文学28名、米文学7名、英語学6名、英語教育3名の総勢44名でした。ご応募いただきありがとうございます。前年度の27名(英文学14名、米文学7名、英語学6名、英語教育0名)よりも多くの方からご応募いただき、御礼申し上げます。

大会準備委員会では、発表タイトルおよび発表要旨を含め、応募原稿に基づいて審査・銓衡を行っております。大会準備委員会より依頼・要請した場合を除き、応募後のタイトルの変更は原則としてご遠慮いただいております。また、タイトルは発表時の使用言語に合わせてご作成をいただき、やむを得ない理由でそれが不可能な場合はタイトル末尾に「(発表演語：～語)」を付記していただきたく存じます。発表応募の際には、これらの点をどうぞご理解いただきますよう、お願いいたします。

◎ハンドアウトについて

シンポジウムや研究発表の発表者の皆様のハ

ンドアウトは、会場でハンドアウトが不足した場合に備え、学会のGoogle Drive上にアップロードすることも可能です(QRコードは会場にて掲示いたします)。発表者・登壇者の方で協力いただける方はハンドアウトのファイルを大会準備担当書記(etaikai@elsj.org)まで大会1週間前を目処にお送りください。充実した大会にするために、大会発表者の皆様のご協力をよろしくお願いいたします。

また、前回同様、大会終了後には『大会Proceedings』をまとめ、学会HP上に公開する予定です。こちらにつきましても、発表者・登壇者の皆様のご寄稿を賜りましたら幸いに存じます。

◎紀要等展示室について

第96回大会においては「紀要等展示室」を一般会員控室に併設いたします。目的は、会員の皆様が紀要等を交換する場を設け、会員間の交流の機会を確保することにあります。展示可能なものは、ご自分の論文の掲載された紀要、学会機関誌、雑誌等、またはその抜き刷り、および書籍等です。会員の皆様のご積極的なご参加を歓迎いたします。

展示をご希望の方は、当日、展示物をご準備のうえ、展示室に用意された机に、ご自分で展示ください。展示物の搬入、展示、回収は、すべてご自身の責任においてお願いいたします。開催校への展示物の送付は、保管等の責任を負いかねますのでご遠慮ください。また展示物の紛失等に関して、大会準備委員会、学会事務局および開催校は、一切の責任を負いかねます(抜き刷りなど「持ち帰り可」とされる場合、展示にあたってそのように明記していただけますと幸いです)。大会終了後も忘れ物として保管はいたしませんので、あらかじめご了承ください。

◎特別研究発表候補の募集

大会準備委員会では特別研究発表の候補者に関するご提案を、以下の要領で公募しております。ご提案がある場合は、大会前年の8月31日までに大会準備担当書記(etaikai@elsj.org)まで、以下の所定の書類をお送りください。

〈特別研究発表の(募集)要領〉

- (1) 発表時間は1時間
 - (2) 資格は、海外の大学等で専任の職を持っていること
 - (3) 謝礼は2万円(税込み)。その他、国内に限った交通費(要領収書)
 - (4) 司会は原則として紹介者が行う
- 〈応募の必要書類〉
- (1) 候補者の略歴、主要業績リスト
 - (2) 発表題目および発表要旨

採否の決定は、大会準備委員会で9月末日までに行い、決定次第ご提案者にご連絡差しあげます。

◎第97回大会(2025)ワークショップの応募開始

2025年に開催する第97回大会ワークショップの応募を開始しております。ワークショップはシンポジウムに準ずるもので、開催時間は原則として、大会2日目午後の特別講演/シンポジウムの時間帯(2時間半程度)を予定しています。企画数の上限は当面3本程度とし、企画案は分野バランス等を考慮して大会準備委員会で選考いたします。

第97回大会分の応募締切は、2024年4月末日です。応募をご希望の方は、学会ウェブサイト(<https://www.elsj.org>)に掲載されている応募要領をよくお読みのうえ、同ウェブサイトよりダウンロード可能な応募フォームその他の書類をそろえて、大会準備担当書記(etaikai@elsj.org)までお送りください。

会員の皆様から新鮮な企画をご提案いただくことで、全国大会をより身近で興味深いものにできれば幸いです。会員の皆様のご協力をお願いいたします。

◎懇親会の開催について

懇親会につきましては東北大学川内北キャンパス内 川内厚生会館内 川内の杜ダイニングにて開催予定です。懇親会に関する情報は3月中旬に日本英文学会ウェブサイト(<https://www.elsj.org>)に掲載されますので、そちらをご確認ください。

【編集委員会からのお知らせ】

◎投稿状況

『英文学研究』は、和文号(12月刊行)、英文号(3月刊行)の年各1冊という刊行形態となっており、和文号、英文号それぞれに投稿の締切が設定されております。昨年9月の英文号の締切までには、18本の英文論文が寄せられ、うち4本が採用されました。本年4月1日投稿締切の和文号にも、多数の投稿があることを願っています。

◎優秀論文賞について

この賞は『英文学研究』(和文号、英文号)に掲載された論文の中から、特に優れた論文に授与されるものです。昨年9月締切の英文号では、残念ながら「該当論文なし」となりました。

◎各種規程の変更について

昨年10月に論文投稿規程および新人賞規程が改訂され、一部に大きな変更が生じています。来年度以降、論文を投稿・応募される方は、昨年12月刊行の和文号第100巻および学会ホームページに掲載しております改訂後の投稿・応募規程に沿って、論文をご作成のうえ、ご投稿・ご応募いただきますようお願い申し上げます。主な変更点は下記の5点です。

- ① 共著論文は、共著者全員が会員であれば投稿可能である旨を明示しました。投稿・応募は会員一人、一論文とし、共著論文も一論文とみなします。執筆者用抜刷は、一論文につき20部とします。
- ② 論文投稿・応募者は、各投稿締切までに、学会ホームページより所定のGoogleフォームにアクセスし、必要事項を記入のうえ送信してください。これにともない、カバーレターの提出は廃止します。
- ③ 日本語論文の注は、ワープロソフトの注作成機能を使わずに本文と同じ書式で作成し、原稿の末尾にまとめてつける旨を明示しました。
- ④ 英語論文投稿規程および英語版新人賞規程において、論文の書式の細部については *The MLA Handbook* などの標準的なスタ

イルマニュアルの最新版に従う旨を明示しました。また、両規程内の表記の揺れを統一しました。

- ⑤ 郵送による新人賞応募論文の受付を廃止します。

詳細は和文号第100巻および学会ホームページ掲載の投稿・応募規程をご確認ください。また近年、大幅な字数超過や、論文内に投稿者・応募者を特定できる情報が記載されているなど、投稿規程・応募規程に抵触する事例が散見します。改訂箇所とあわせてご注意くださいますようお願いいたします。

◎英文号掲載論文のシノプシスについて

3月刊行の英文号65(2024)より、和文号に掲載された日本語論文の英文シノプシスに加え、同号に掲載された英語論文のシノプシスも掲載しております。

◎第47回新人賞論文募集

4月30日締切で、第47回新人賞論文を募集しています。新人賞論文には賞金10万円、佳作論文には賞金5万円が授与されます。応募対象者は、締切日時時点で満37歳未満または修士号取得後5年以内の会員です(共著論文の場合、共著者全員が上記のいずれかに該当することが条件です)。該当する若手研究者の方々にはふるってご応募いただければ幸いです。堅実かつ野心的な論考を期待しております。応募される方は、『英文学研究』第100巻(和文号)または学会ホームページ掲載の改訂後の応募規程を必ずご確認のうえ、ご応募ください。

◎委員の交代

3月末日をもって池田寛子、梶本顕士、富樫剛、新田啓子、松本靖彦、三浦あゆみ、森慎一郎、山内功一郎、山本武史、横山千晶の各氏が任期満了によりご退任となります。ありがとうございました。

任期満了でご退任される委員の後任には、石割隆喜(大阪大学)、桐山恵子(同志社大学)、合田典代(京都大学)、古村敏明(神戸女学院大学)、齋藤章吾(弘前学院大学)、齋藤美和(奈良女子大学)、佐々木真理(実践女子大学)、関良

子(三重大学)、竹安大(福岡大学)、橋本安央(関西学院大学)、平山直樹(尾道市立大学)の11氏が選ばれました。昨年度承認されたアメリカ文学分野編集委員の増員措置に従い、同分野の委員数を2024年度より1名増員しますので、今年度は退任委員10名に対し後任委員11名となります。任期は4月1日から3年です。どうぞよろしく願いいたします。

◎編集委員会顧問の交代

3月末日をもって飯野友幸(上智大学)、奥聡(北海道大学)、小倉美知子(千葉大学(誉))、川端康雄(日本女子大学(誉))、貴志雅之(大阪大学(誉))、木村茂雄(名古屋外国語大学)、巽孝之(慶應義塾大学(誉))、中尾まさみ(東京大学)、中野春夫(学習院大学)、若島正(京都大学(誉))の各氏が任期満了によりご退任となります。長い間ありがとうございました。

2024年度より宇沢美子(慶應義塾大学)、大河内昌(東北大学)、大室剛志(関西外国語大学)、小澤博(関西学院大学)、島越郎(東北大学)、外岡尚美(青山学院大学)、新野緑(ノートルダム清心女子大学)、真野泰(学習院大学)、三宅昭良(東京都立大学)、渡邊克昭(大阪大学)の各氏が新顧問に就任されます。任期は4月1日から5年です。どうぞよろしく願いいたします。

【本部事務局からのお願い・ご報告】

◎会費納入と刊行物発送について

日本英文学会の2024年度会費は、例年通り、一般会員8,000円(本部会費7,000円+支部会費1,000円、ただし複数支部に加入の場合は1支部ごとに1,000円追加)、学生会員5,000円(本部会費4,000円+支部会費は一般会員に同じ)、協賛会員10,000円です。退会届が出されない限り、会費の納入が滞っても、2年間は引き続き刊行物をお送りいたします。資格を失ったのちも、未納分の会費については支払い義務があり、その分をお支払いいただかない限り再入会できませんので、ご注意ください。

会費の納入状況が不確かな場合には、メールなどで事務局(ejimu2@elsj.org)までお問い合わせください。重複して会費を支払われます

と、払い戻しなどに余分な手数料がかかってしまいますのでご注意ください。

会費の納入忘れを避けるためにも、「郵便局自動払込みによる会費引き落とし」のご利用を強くお勧めしております。郵便局(ゆうちょ銀行)に口座をお持ちでしたら、事務局からお送りする書類に記入して、ご返送いただくだけで簡単に利用できます。領収書も、ご請求があれば学会より発行いたします。ご利用をご希望の方は、メールなどで事務局(ejimu2@elsj.org)までご連絡ください。

なお、会費の振込手数料は、会員の皆様にご負担いただいております。どうかご了承ください。

◎全国大会の受付業務

全国大会の当日の受付業務は以下の時間と内容となります。なお、受付にて会費を納入いただくことはできませんので、ご注意ください。

※受付時間：5月4日(土) 12:00～16:00
5月5日(日) 9:30～11:30

1) 当日会員の受付

非会員の方々でも、当日会員費1,000円をお支払いいただければ、『大会資料』を受け取り、すべてのプログラムに参加できます。後日、一般会員もしくは学生会員として正規にご入会いただく場合には、当日会費の領収書があれば、当該年度会費から1,000円を差し引かせていただきます。

2) 郵便局自動払込み領収書の発行

郵便局自動払込みをご利用の方には、ご希望により受付にて領収書をお渡しいたします。ご希望は自動払い込み申込時に伺っておりますが、お忘れの方はメール(ejimu2@elsj.org)もしくは電話で、事務局までご連絡ください。すでにご希望をいただいている会員の方は、郵送費の経費削減のためにも、ぜひ受付にお立ち寄りください。

3) 変更届の受付

ご住所やご所属等に変更がある場合は、変更届をご提出ください。

4) 出張証明書の発行

ご所属の大学で公費出張をなさる場合の出

張証明書を発行いたします。ご入用の方は受付にてお申し付けください。

◎入会・退会の手続きについて

入会・退会の手続きにつきましては、学会ウェブサイト(<https://www.elsj.org>)の「入会案内」欄にて詳しくお知らせしておりますので、そちらをご参照ください。以下、注意点を記しておきます。

《入会手続きについて》

入会手続きにつきましては、お申し込み内容に応じて、事務局より、郵便振替用紙もしくは郵便局自動払込利用申込書のいずれかが、ご指定いただいた住所に送付されます。郵便振替用紙をお送りした場合は、会費をお振り込みいただいた時点で入会とし、また、郵便局自動払込利用申込書をお送りした場合には、これを事務局宛にご返送いただいた到着日をもって入会として扱います。研究発表への応募や論文の投稿などの資格も、これに準じて発生することになります。

《退会手続きについて》

会員は、退会するときは、退会届を提出しなければなりません。また、2年間にわたって会費を滞納した場合は、会員の資格を失うこととなります。つまり、退会届を提出しなければ、会費を納めなくても2年間は会員扱いになり、当学会の学術誌や刊行物の送付を継続いたします。資格を失ったのちも、未納分の会費については支払い義務があり、その分をお支払いいただかない限り再入会できませんので、ご注意ください。

退会のご意思をお持ちの場合には、速やかに、ウェブサイト(<https://www.elsj.org>)上の「お問い合わせ」欄やメールで事務局(ejimu2@elsj.org)までご連絡いただき、どの年度をもって退会とするかをご指示ください。なお、本部のみ、支部のみを退会することはできません。

◎学生会員の皆様へ

学生会員の皆様には事務局から以下の2点をお願いしております。

- 1) 毎年度4月末日までに学生証の写しを送付すること
- 2) ゆうちょ銀行自動払込みの申し込みをすること

すでに学生会員となっており、引き続き2024年度も学生会員の身分を継続希望の方は、4月末日までに、2024年度有効の学生証の写しを、メール添付PDFファイルにて、本部事務局(ejimu2@elsj.org)宛にお送りください。確認のうえ、2024年5月中旬に学生会員としての年会費を引き落とします(ゆうちょ銀行口座残高をご確認ください)。なお、上記2つの条件を満たさない場合、一般会員に身分変更するなどの措置をとらせていただくこととなりますので、ご注意ください。

また、身分に変更が生じた場合や、留学等で長期間海外に出られる場合などは、事務局(ejimu2@elsj.org)までその旨ご一報ください。

◎各種変更に関するお願い

氏名、住所、電話番号、メールアドレス、所属、身分、所属支部などに変更が生じた場合には、お手数ですが、事務局(ejimu2@elsj.org)まで速やかにご連絡ください。とりわけ、氏名と住所の変更は、会費の引き落としや刊行物の配送に支障をきたしますので、お早めにお知らせください。

◎夏季休暇中の事務連絡について

本部事務局は、7月26日より8月31日まで基本的に夏季休暇とさせていただきます。この間の学会へのご連絡は、回答までに日数がかかることもあります。あらかじめご了承ください。

◎次回のニューズレターについて

次回のニューズレターは、2024年9月中旬刊行予定です。なお、それまでの間に公開すべき情報は、随時学会ウェブサイト(<https://www.elsj.org>)やメーリングリストにて告知いたします。

◎次期事務局構成

2024年度本部事務局は下記のメンバーで構成いたします。ただし、全国大会終了後の5月

末までは現事務局が「主」、新事務局が「副」として業務にあたります。6月1日以降は、全面的に新事務局に移行します。

事務局長	猪熊恵子 (東京医科歯科大学)異動
事務局長補佐	秦 邦生 (東京大学)
会計補佐	広本優佳 (東京工業大学)
オンライン補佐	瀧川宏樹 (大阪工業大学)
編集担当書記	加太康孝 (都留文科大学)
大会準備書記	中嶋英樹 (多摩美術大学)

新事務局は阿部公彦会長のもと、英文学会が会員の皆様の優れた研究・教育の成果を発表することのできる場であり続けるため努めてまいります。今後とも、会員の皆様のご指導ご鞭撻をよろしくお願い申し上げます。なお、現事務局にこれまで賜りました多大なるご支援に、この場をお借りして篤く御礼申し上げます。

日本英文学会事務局
田村斉敏・猪熊恵子・津田正・
永嶋友・馬淵恵里・酒井祐輔